

平成21年度D P C評価分科会における特別調査について (案)

1 経緯等

本年5月20日の中医協基本問題小委員会において、D P Cに関する調査を補完し、適切な算定ルールの構築等について検討するため、平成20年度と同様に、当分科会において、医療機関からの意見交換（ヒアリング）を実施することとされた。

2 調査方法等

平成20年度調査により得られたデータを基に、各調査項目に該当したD P C対象病院及びD P C準備病院に調査票を配布する。

その調査票の回答内容等も踏まえ、当分科会において、ヒアリングを実施すべきと考えられる病院について、招集することとする。

3 調査項目

(1) 再入院及び再転棟について

平成20年度診療報酬改定により、同一疾患での3日以内の再入院については、1入院として取り扱う等の算定ルールの見直しを行った。

その改定後に実施された、平成20年度再入院（再転棟）にかかる調査では、3日以内の再入院の割合は大幅に減少した一方で、4～7日以内の再入院の割合がわずかに増加していた。

また、D P C対象病院及び準備病院において、慢性期の病床を併設している病院（いわゆる「ケアミックス型病院」）が増加しているが、こうした病院の一部では、一般病棟と療養病棟等の間で再転棟する症例が認められている。

これらのことを踏まえ、以下に該当する病院へ調査を実施する。

- ① 3日以内及び4～7日以内の再入院の割合について、他の病院と比べ大きな違いがある病院
- ② 再転棟の割合が多い病院

(2) 診療内容等について

DPCでは、最も医療資源を投入した傷病名から、実施した手術や処置、また副傷病や重症度によって1つの診断群分類を選択（コーディング）しているが、診療内容に対し必ずしも適切でない選択（コーディング）が行われている例があるのではないかという指摘がある。

この他、医療の質や効率化、データの質等に関する事項について、以下に該当する病院に対し調査を実施する。

- ① 特定の診断群分類において、診療内容が他の医療機関と比べ大きく異なる病院
- ② 後発医薬品等の薬剤の使用状況が、他の医療機関と比べ大きく異なる病院
- ③ DPC導入前と導入後で、診療内容が大きく変化した病院
- ④ データの質に関して確認が必要であると思われる病院
- ⑤ その他

(3) その他